

## 学 会 録 事

### 1. 日本藻類学会第2回持ち回り評議員会

平成16年6月16日～7月2日に第2回持ち回り評議員会を開催し、日本藻類学会2005-2006年度会長及び評議員選挙の日程の審議、および会長候補者の推薦投票を行った。その結果、次期会長・評議員選挙投票を8月2日(月)～8月31日(火)に行うことが了承され、また同点者を含めて6名の次期会長候補者が選出された。

この結果に基づき、評議員会の会長候補者推薦に関する申し合わせ事項(藻類49巻2号168参照)に則り、7月7日から7月16日(金)までの期間、各会長候補者への推薦承諾の確認を実施した。しかし、候補者6名中4名の方から候補者を辞退する旨の回答が寄せられたため、8月に実施する日本藻類学会会長選挙においては「評議員会としては会長候補者の推薦を見送る」ことを決定した。

### 2. 日本藻類学会2005-2006年度会長及び評議員選挙の結果について

2005年1月1日から2006年12月31日を任期とする会長・評議員選挙を平成16年8月2日から8月31日の期間、実施した。平成16年9月3日午後3時より、山形大学理学部生物学科において本会会員の日野修次氏と谷藤吾朗氏の立ち会いのもとで開票を行った。その結果に基づいて、各当選者の承諾を得たうえで、以下の次期会長および評議員が選出された。

#### [会長選挙]

川井浩史(当選); 増田道夫(次点)

#### [評議員選挙]

北海道地区 (定員2名) 嵯峨直恆(当選), 堀口健雄(当選); 水田浩之(次点)

東北地区 (定員1名) 原 慶明(当選); 谷口和也(次点)

関東地区 (定員3名) 井上 勲(当選), 吉崎 誠(当選), 出井雅彦(当選); 笠井文絵(次点)

東京地区 (定員2名) 南雲 保(当選), 藤田大介(当選); 真山茂樹(次点)

中部地区 (定員3名) 前川行幸(当選), 石田健一郎(当選), 倉島 彰(当選); 大城 香(次点)

近畿地区 (定員2名) 鯉坂哲朗(当選), 今井一郎(当選); 中原紘之(次点)

中国四国地区 (定員2名) 奥田一雄(当選), 梶原忠彦(当選); 村瀬 昇(次点)

九州地区 (定員2名) 川口栄男(当選), 野呂忠秀(当選); 新井章吾(次点)

(敬称は省略)

### 3. Phycological ResearchのISI社データベースへの登録について

奥田英文誌編集委員長はBlackwell Publishing Asiaの協力を受け、Phycological ResearchのThomson ISI社(Institute for Scientific Information)データベースへの登録申請を行っていたが(「藻類」52巻2号131頁), 8月中旬に同社から奥田編集長へ、Phycological Researchを同社が発行するCurrent Contentsの収録対象誌とする旨の連絡があった。ISI社によるデータ収録は今年度掲載分からはじまり、引用文献データベースであるWeb of Scienceでの検索も可能となるうえ、3年後にはインパクトファクターが付くことになる。ここに奥田編集委員長のご尽力に感謝する。

### 4. 日本藻類学会研究奨励賞の募集について

今年度より新たに日本藻類学会研究奨励賞を設けたが(「藻類」52巻2号132頁), 10月1日現在、本賞への応募は皆無である。応募は会員による推薦以外に自薦でも受け付けており、積極的な応募を期待する。なお応募締め切り日は12月25日(土)であり、募集要項及び必要書類の書式等については日本藻類学会ホームページを閲覧するか日本藻類学会事務局に問い合わせ願いたい。

## 「地球環境研究総合推進費」17年度新規研究課題の公募について

地球環境研究総合推進費は、地球環境政策を科学的に支えることを目的とした環境省の競争的研究資金です。研究機関に所属する研究者であれば、産学官等を問わず研究に参画できます。

10月下旬から12月10日前後まで、平成17年度新規研究課題を公募します。

公募の対象研究や募集方針、応募方法、募集期間などの詳

細は、推進費ホームページの「平成17年度新規課題公募要項」をご参照下さい。なお、現在進行中の研究課題については、推進費ホームページでご覧頂けます。

※推進費ホームページ

<http://www.env.go.jp/earth/suishinhi/index.htm>

<問合せ先>環境省地球環境局研究調査室

E-mail:suishinhi@env.go.jp